

# Newsletter

映画英語教育学会 九州支部  
The Association for Teaching  
English through Movies (ATEM)  
Kyushu Chapter

第 13 号

2013 (平成 25) 年 6 月 1 日

映画英語教育学会 九州支部事務局 発行

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 4-9-1

九州大学 芸術工学研究院 中島 研究室

TEL: 092-553-4564

FAX: 092-553-4520

E-mail: K\_office@atem.org

URL: <http://www.atem.org/kyushu/index.html>

編集: 浦田 毅彦・中村 茂徳

## Contents

Page 1 巻頭言

Page 2, 3 第 14 回支部大会ルポ

Page 3 2013 年度 S T E M 大会参加報告 / 映画ジョッキング

Page 4 第 15 回支部大会案内 / 2011 年会計報告 / 編集後記

## ATEM 九州 2 0 1 3

映画英語教育学会 九州支部

支部長 砂川 典子 (九州ルーテル学院大学)

年度途中ではありましたが、2013 年 1 月から、支部長・副支部長・事務局長の三役の内、支部長と副支部長が交代しました。新副支部長の秋好先生、また引き続き事務局長を務めていただく山下先生とともに、旧役員の方、また会員の先生方のサポートと協力を支えに頑張っていきたいと思っております。みなさまどうぞよろしくお願いたします。九州支部は、今年も例年通り秋に支部大会、そして来年には夏に福岡で全国大会を開催しますので、ぜひ成功させたいですね。

さて、今年は 3 月に桜が終わってしまったせいか、春を満喫している間もなく、すぐに新学期→ゴールデンウィークとなってしまいました。ほぼ毎日夏が続いていて、夏が早めにやってきそうです。先日、5 月 10～12 日にかけて、姉妹学会である韓国 STEM の International Conference に出席させていただきましたが、初日は寒かったものの、学会当日は好天に恵まれ、会場の国民大学校ではツツジが満開で緑も眩しく、すっかり初夏の陽気でした。私は今回が初韓国だったのですが、国際交流委員の篠原先生はいろいろお世話になり、心から感謝しております。また、今年は ATEM の各支部の先生方の発表も多く、九州支部からは大木先生とニック先生、高瀬先生が発表され、盛況の内に閉会となりました。

STEM での大会を見ても感じられましたが、最近の発表の傾向として、インターネットや、iPhone・iPad といったツールの英語の授業への活用が挙げられます。それでも、やはり映画は英語学習の教材として優

れていると同時に、異文化を学生に教えるのにやはり大変効果があると感じました。特に最近感心したのが、BBC 放送が作成した名作のドラマシリーズです。

最近授業で、イギリスの小説家チャールズ・ディケンズの『デビッド・コパーフィールド』とジェイン・オースティンの『高慢と偏見』を利用したのですが、特に後者が印象的でした。オースティンの作品は、近年、キアラ・ナイトレイ (『プライドと偏見』) やグウィネス・パルトロー (『エマ』) といった人気女優出演で映画化されていますが、BBC の TV 映画版のほうが、より原作に近い形で映像化に成功していると思います。NHK が毎年大河ドラマに力を入れているように、BBC による英文学の古典の TV 映画は非常に凝っていますが、劇場映画版の『プライドと偏見』は 2 時間程度ですが、TV 映画版『高慢と偏見』は 5 時間を超える長さのため、前者では物足らなかった、オースティン独特のセリフの面白さやキャラクターの心理、当時の階級社会がよく描かれています。学生も、TV 映画版の『高慢と偏見』をより気にいってくれたようで、当時を忠実に再現した繊細な衣装やセットにも感心していました。今年もオースティンで卒論を書く学生が出るのではとても楽しみです。

## 第 14 回支部大会ルポ

昨年度の支部大会は、福岡医療短期大学で開催されました。ピアノの演奏があるということで、それを楽しみにされている一般の方も多数おられました。開会式では、会場校の高瀬先生が一般の方にも配慮されながら支部総会へと入っていかれました。



小林前支部長のあいさつ、会計報告にて総会は閉会しました。

それから、一般の方お待ちかねの「イントロクイズ・ピアノ演奏」。演奏される白石景子さんは、小林前支部長の教え子だそうです、お忙しい演奏活動の合間を縫って支部大会を盛り上げて頂きました。クイズは全部で10問。「雨に唄えば」や「崖の上のポニョ」のようなよく知っているはずの曲も、ほんの数秒程度のイントロで切られると、意外に難しいものでした。それでも10問中8問正解された方もいました。

クイズの後には、映画「愛情物語」より“To Love Again”そしてアンコールは「ルパン三世のテーマ」を披露していただきました。



続いては、恒例の映画オタクコンテスト。今回は八尋先生欠席のため、與古光先生と吉村先生が代役を務められました。若いお二人がデジタルの技術を駆使し、オープニングのタイトルには、しっかりと“OTAKU Contest”の文字がありました。



全10問の出題ですが、一問一問、Scene No. をつけての出題で、どこまでが同じ映画からなのかわかりやすく配慮されていました。



もっとも難易度は低くなかったようです。恒例の賞品を高正解率の方から順番に選んでいただき、無事にコンテスト終了です。



続いて、Oxford University Press の Willhite Keiko さんによるプレゼンテーション。同社の ELT シリーズの中から、人気の“The Wallace and Gromit ELT series”の紹介でした。



今回、見せていただいた「ペンギンに気をつけろ！」は、下宿人を装ってウォレスの家にやってきたペンギンのマッグロウの正体は指名手配の泥棒だった。(ウィキペディアより)というストーリー。なるほど、したたかそうなペンギンで、結末が気に入りしました。

その後行われた研究発表は、次ページの通りです：

★第1室

- (1) 「映画「リアル・スティール」で学ぶ前置詞」  
——岡崎 修平 先生  
(九州大学理学部化学科)



- (2) “Investigation of English Language Teaching Implements of Third Country Movies with Native Textural Origin : Part II”  
——Nikolai Nikandrov 先生  
(福岡医療短期大学)



- (3) 「シンガポール文化と教育」  
——大木 正明 先生  
(大分工業高等専門学校)



- (4) “The Song in a Movie”  
——Haynes David 先生  
(福岡医療短期大学)



★第2室

- (1) 「日本の「マンガ」「アニメ」を用いた英語教育の実践例」  
——吉村 圭 先生  
(鹿児島女子短期大学)



- (2) 「パソコンを利用した電子教材による授業作り」  
——牟田 智子 先生  
(福岡県小郡市立小郡中学校)



- (3) “Teaching English with Back to the Future”  
——Christopher Chase 先生  
(西南学院大学)



- (4) 「ICTを活用した英語プレゼンテーション指導」  
——篠原 一英 先生  
(福岡県立福島高等学校)



(文責・撮影：浦田 毅彦)

## 2013 年度STEM大会参加報告

17 回目を迎えた今回のSTEM大会は、ソウルの国民大学校(Kookmin University)で開催された。この会場はSTEMで院政を敷く初代会長の Lee Ja-Wan 教授の勤務校である。九州支部が 2 年前の支部大会を国際大会と称したように、昨年同様、本大会も国際大会と銘を打っていた。会長は今回から檀国大学校(Dankook University)の Park Young 先生に替わって、釜山教育大学校(Busan National University of Education)の Lee Donghank 先生が第 3 代会長に就任していた。彼も前任者同様、非常に優しく、好意的な人物で、高瀬との親交も厚い。

九州支部からの参加者は、砂川支部長、大木先生、篠原先生、Nikandrov 先生、鶴田先生、そして私、高瀬の 6 名であった。その中で、大木先生と Nikandrov 先生・高瀬の 2 組が研究発表、そして篠原先生が Moderator という形で大会に参加した。

本大会はSTEMやATEM以外に、相模女子大学の曾根田先生を会長としているアメリカ映画文化学会(SAFC)も参加している。曾根田先生はATEMの 2 代目会長でもある。SAFC から多くの研究発表がなされ、大いに盛り上がった大会となった。

他のATEM支部からは、東日本支部から磐崎二代目会長や大月先生、西日本支部からは角山会長を始め、倉田先生、藤枝先生、横山先生などの先生方が参加した。

STEM大会での最近の特徴として、国際大会として銘を打つだけに外国人の参加者が非常に多いのが挙げられる。オープニングもクロージングも大会運営が英語で行われており、発表内容もかなりレベルが高くなったと言えよう。かつて、STEMはATEMよりも全てに於いてまだまだと言っていた時代が嘘のようである。Lee Ja-Wan 教授によれば、来年度はSTEM大会をこれまでの 1 日のみの開催から、2 日間での開催と規模を拡大すると宣言されていた。いよいよもってSTEMはATEMを凌駕する存在に成長・発達を遂げたと言えよう。

(高瀬文広 福岡医療短期大学)

## ◆◆映画ショッキング vol. 12◆◆

～ダークナイト・ライジング?～

2012 年公開の『ダークナイト・ライジング(The Dark Knight Rises)』はクリストファー・ノーラン監督による新生バットマンシリーズ、『バットマン・ビギンズ(Batman Begins)』(2005)、『ダークナイト(The Dark Knight)』(2008)に続く完結編です。

2012 年某日、バットマンシリーズのファンであり、クリストファー・ノーラン監督のファンである私は新生バットマンシリーズの完結編である本作品を心待ちにしていました。タイトルが発表され、キャストが発表され、作品への期待が高まっていた頃、一つの疑問を抱くこととなります。原題の『The Dark Knight Rises』には現在形が使われているのに対して、日本語タイトルには『ダークナイト・ライジング』と現在分詞(Rising)が使われていたためです。

このような日本語タイトルになったのは、「ライジング」という単語が日本人に馴染みがあると考えたためなのか、以前ハンニバルシリーズでレクター博士の誕生を描いた『ハンニバル・ライジング』が公開されていたためなのか、定かではありませんが、少なくともこのときは原題も『Hannibal Rising』でした。

日本語タイトルは度々おかしいので、とりあえずよしとします。しかしなぜ原題が『The Dark Knight Rises』で現在形が使われているのでしょうか。この疑問を抱いたまま劇場に向かうことになりました。そして、この疑問はラストシーンと、その直後、“THE DARK KNIGHT RISES”とタイトルが出た瞬間に解決することになります。(※ここから先はネタバレ注意です。)

バットマンシリーズのファンの方はピンと来ていると思いますが、ラストシーンで登場しているのは“ロビン”です。つまりバットマンとは別の“闇の騎士”です。

現在形は普遍の真理や習慣を表す、安定感の強い時制です。このタイトルを使うことにより、バットマンが奈落の底に落とされても這い上がる姿や、“ロビン”という新たな“闇の騎士”が立ち上がることが効果的に示唆されています。悪と闘う“闇の騎士”はいつも存在し続けているということなのです。

(岡崎 修平)

## 第15回九州支部大会案内

第15回ATEM九州支部大会を、下記のように開催致します。昨年度は福岡医療短期大学で開催しましたが、本年度の支部大会は、福岡大学にて、下記のとおりで行われます。大会後は、恒例の懇親会で、大いに盛り上がりましょう。多くの方々のご応募をお待ちしております。

日時：2013年10月19日(土) 13時より

会場：福岡大学8号館813, 814, 815教室

住所：福岡県福岡市城南区七隈8-19-1  
(地下鉄七隈線・福大前駅下車、徒歩約10分)

懇親会：場所は未定 会費 ¥4,000程度。

### 発表応募要領

申し込み締め切り：2013年7月27日(土)

申し込み先：(事務局長 山下 友子 宛)

・E-mail: K\_office@atem.org

・郵送/FAX:

〒815-0032 福岡市南区塩原4-9-1

九州大学 芸術工学研究院 中島研究室

電話：092-553-4564

FAX: 092-553-4520

### 記載事項:

1. 発表者名(ふりがな)・所属先名・職名
2. 連絡先(E-mailアドレス含む)
3. 発表タイトル
4. 発表概要(日本語発表:日本語で400字、英語発表:英語で200words程度)
5. 使用機器(※開催校の都合上、準備が不可能な場合もございますので、予め相談下さい)

\*発表時間は質疑を含めて30分間です。

(文責:山下 友子)

## 本部事務局より お知らせ

年会費の未払いが問題になっているそうです。2年以上滞納されると会員資格を失いますので、ご注意くださいとのことです。

## 2011年会計報告

■2011年 ATEM九州支部会計報告

(2011/01/01~2011/12/31)

項目	収入
前年度繰越金	293,524
本部より	50,000
印税寄付	6,275
<b>収入合計</b>	<b>349,799</b>

項目	支出
アルバイト代	13,000
茶菓	7,319
郵便代	3,300
弁当	3,920
懇親会補助	20,000
会議用室料	43,055
支部封筒作成	15,855
文具	4,809
講師謝礼	30,000
<b>支出合計</b>	<b>141,258</b>

**収入合計-支出合計= 208,541円 次年度繰越へ**

映画英語教育学会本務事務局での予算年度は、1月1日~12月31日になっておりますので、本支部の会計年度もこれに倣っています。上記の2011年の収支決算書は、昨年の支部運営委員会、並びに支部総会にかけられ、承認されたものです。

(報告:事務局長 山下 友子)

## 編集後記

今号よりニュースレター、これまでみなさまにお届けしていた紙媒体による発行はせず、電子版のみとすることになりました。これにより、印刷のコストや郵送費、またその手間が大幅に削減されることとなります。そこで今回、写真を多用して支部大会の様子をお伝えしてみましたが、いかがだったでしょうか。毎回、なるべく雰囲気のある写真をとって撮っていたものが日の目を見ればありがたいのですが、余計かもしれません。みなさまのご意見を頂戴しながら、電子版ニュースレター、お届けしていきたいと思っております。

(浦田 毅彦)